

バスに関する交通事故統計データ

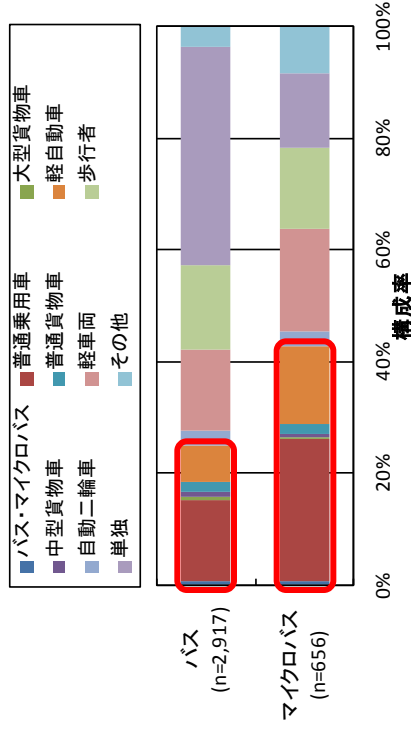
バス事故の発生状況

	全事故				死亡事故			
	第1当事者		第2当事者		第1当事者		第2当事者	
	件数	構成率	件数	構成率	件数	構成率	件数	構成率
バス	2,917	0.4%	1,120	0.2%	23	0.5%	21	0.6%
マイクロバス	656	0.1%	298	0.0%	4	0.1%	9	0.2%
普通乗用車	358,372	49.4%	215,319	31.1%	1,593	33.7%	473	12.7%
軽乗用車	157,643	21.7%	120,338	17.4%	818	17.3%	185	5.0%
大型貨物車	9,514	1.3%	3,730	0.5%	243	5.1%	273	7.3%
中型貨物車	15,548	2.1%	5,508	0.8%	231	4.9%	147	3.9%
普通貨物車	44,721	6.2%	21,874	3.2%	296	6.3%	96	2.6%
軽貨物車	58,084	8.0%	32,769	4.7%	563	11.9%	104	2.8%
ミニカー	58	0.0%	111	0.0%	1	0.0%	0	0.0%
自動二輪車	14,532	2.0%	39,018	5.6%	332	7.0%	234	6.3%
原動機付自転車	25,301	3.5%	53,948	7.8%	248	5.2%	133	3.6%
特殊車	480	0.1%	288	0.0%	26	0.6%	14	0.4%
自転車等	23,633	3.3%	131,850	19.0%	201	4.3%	462	12.4%
その他	11	0.0%	87	0.0%	1	0.0%	29	0.8%
歩行者	2,204	0.3%	66,492	9.6%	124	2.6%	1,554	41.6%
不明	12,099	1.7%	421	0.1%	22	0.5%	0	0.0%

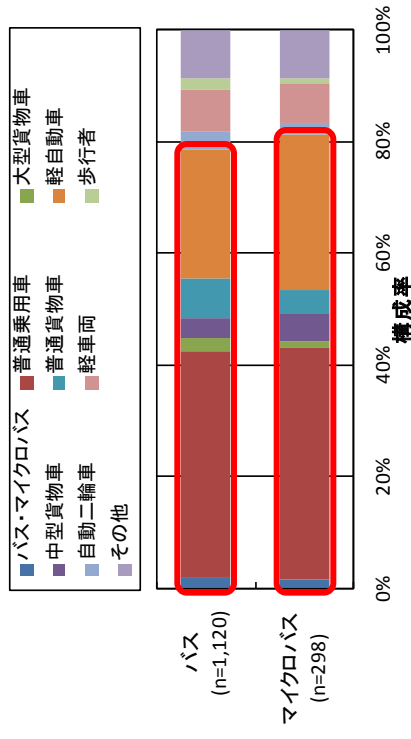
• バス・マイクロバス事故の構成率は、いずれも1%以下と非常に低い。

バス事故の相手車種別構成率

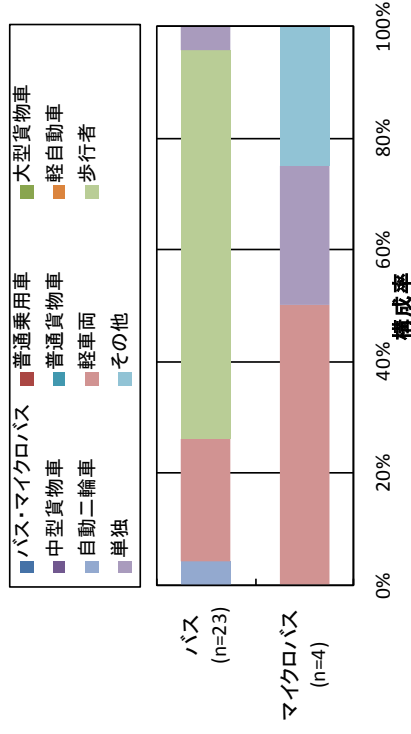
バス・マイクロバスが1当の事故



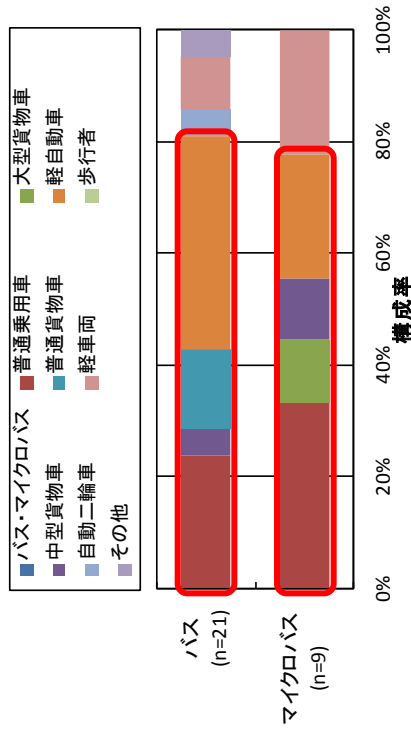
バス・マイクロバスが2当の事故



バス・マイクロバスが1当の死亡事故



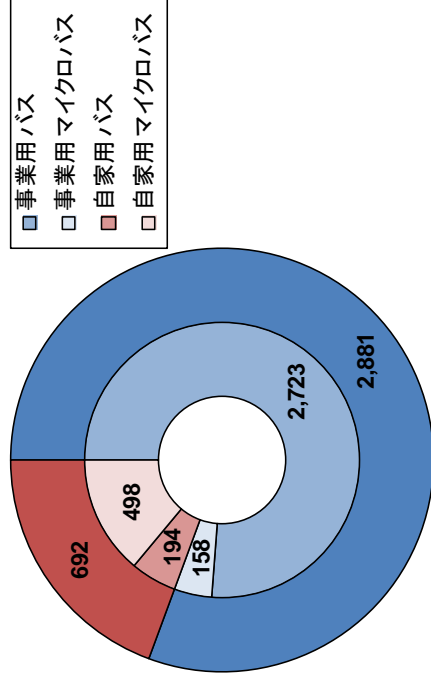
バス・マイクロバスが2当の死亡事故



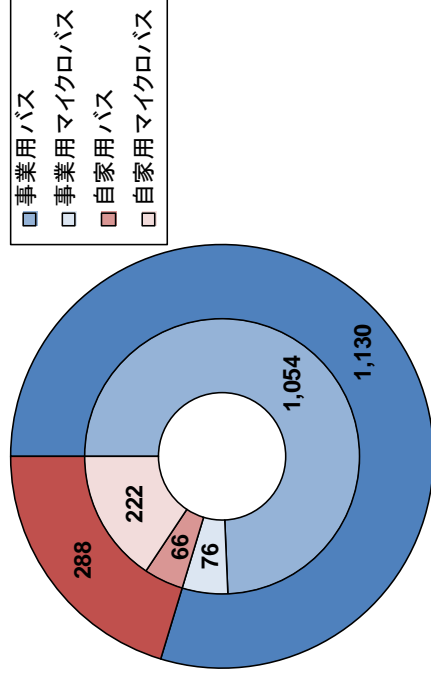
- バスが1当の事故では、単独事故が比較的多い。
- バス・マイクロバスが1当の事故における相手は、四輪車が半分以下と少ない。この傾向は、死亡事故でより顕著である。
- バス・マイクロバスが2当の事故では、四輪車が相手の事故が約8割を占めている。

バス事故の用途別発生件数

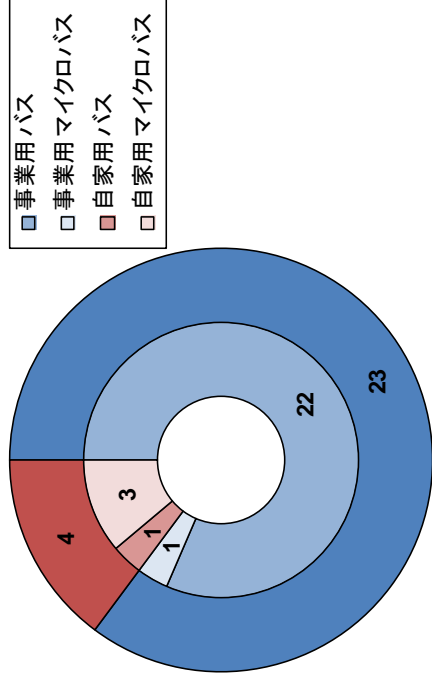
バス・マイクロバスが第1当事者となる全事故



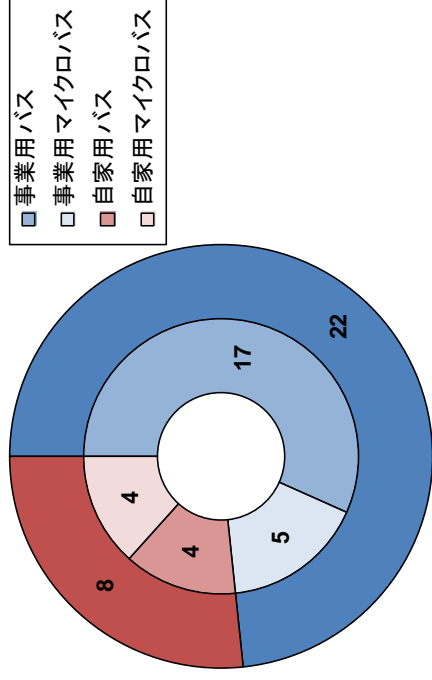
バス・マイクロバスが第2当事者となる全事故



バス・マイクロバスが第1当事者となる死亡事故



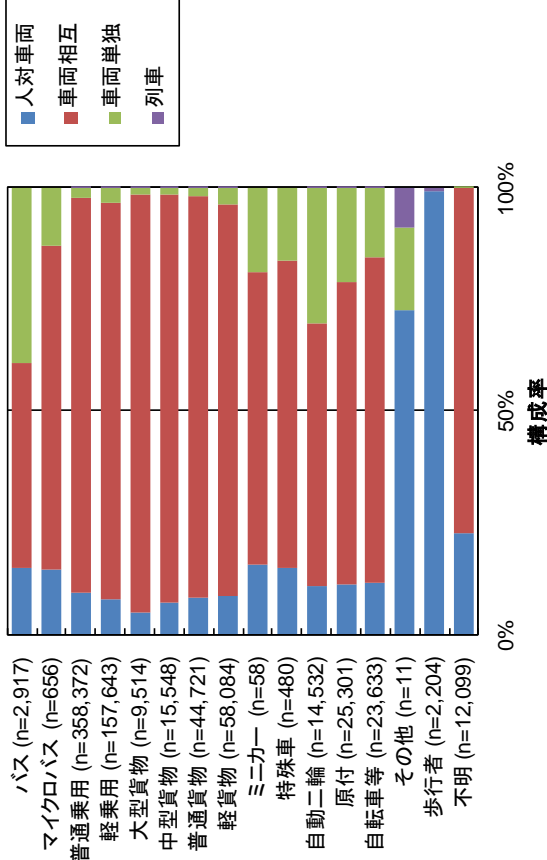
バス・マイクロバスが第2当事者となる死亡事故



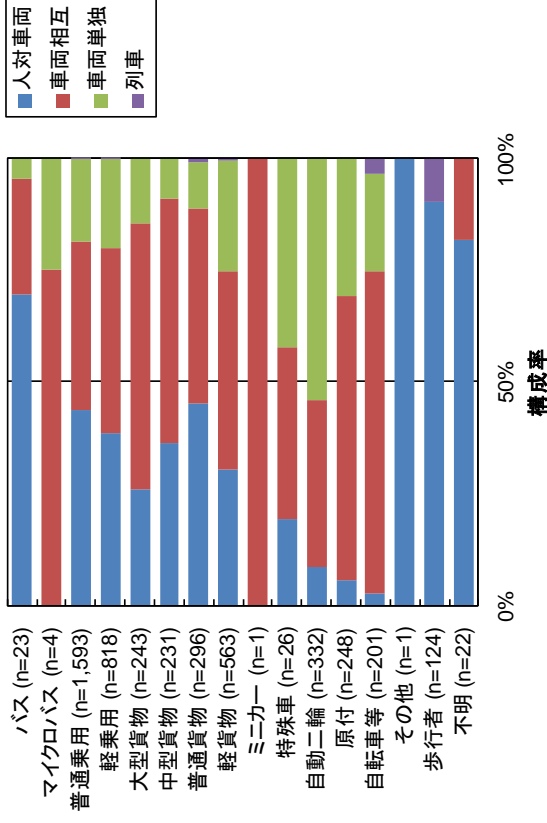
- バスの場合は、1当、2当、全事故、死亡事故のいずれの場合も事業用の割合が高く、70～80%を占める。
- 一方、マイクロバスの場合は、自家用の割合が高い。

第1当事者の事故類型別の発生状況

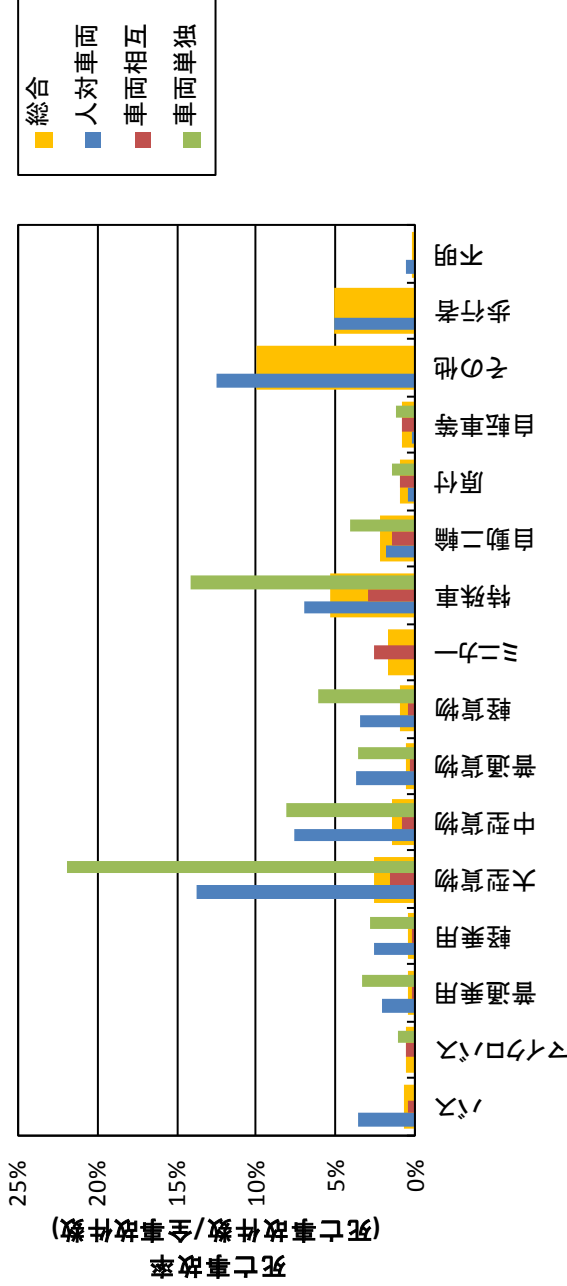
第1当事者別の事故類型構成率(全事故件数)



第1当事者別の事故類型構成率(死亡事故件数)



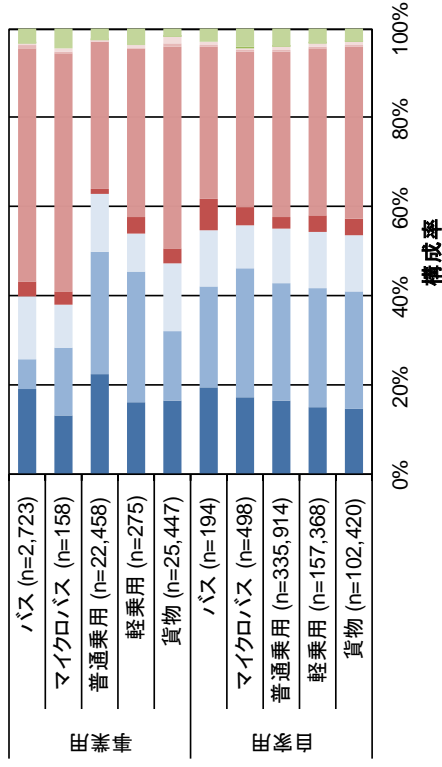
第1当事者別の死亡事故率



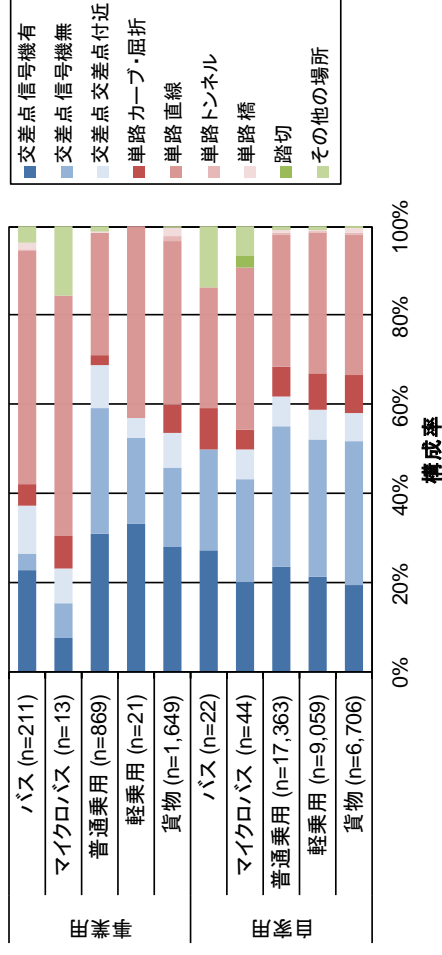
- 全事故の事故類型別構成率では、車両相互が高い。
- 死亡事故では、人対車両が高い。
- バスの死亡事故率は、普通乗用車よりも高いが、貨物車よりは低い。

道路形状別の発生件数

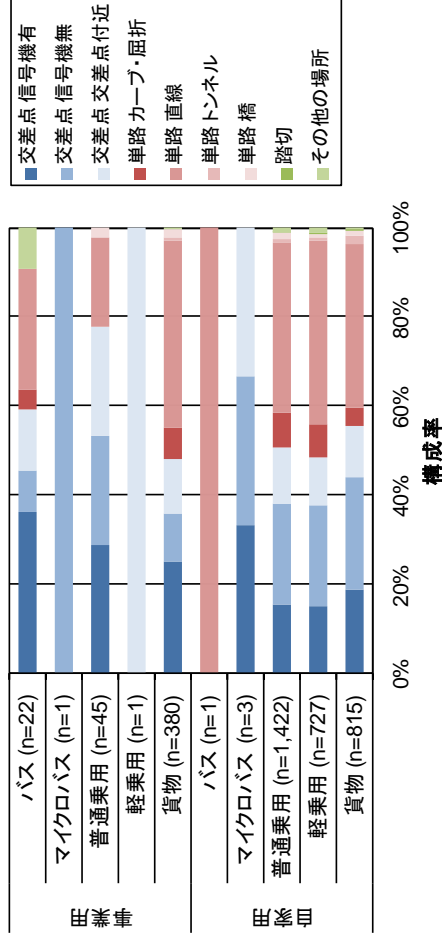
第1当事者別の道路形状別発生件数(全事故)



第1当事者別の道路形状別発生件数(重傷事故)



第1当事者別の道路形状別発生件数(死亡事故)



- 事業用のバス・マイクロバスは、他の車種に比べて単路-直線での事故が多い。

* 「踏切」とは、踏切上の事故で、当事者が列車でない場合も含む。

* 「その他の場所」は、広場等車道幅員が容易に測定できない道路であり、高速道路、一般国道、都道府県道に付属して設けられたサービスエリア、パーキングエリア等を含む。

道路種類別の発生件数

	高速国道		指定自動車専用道路		全事故(1当)		全事故(2当)	
	件数	構成率	件数	構成率	件数	構成率	件数	構成率
バス・マイクロバス	60	0.9%	36	0.6%	3,573	0.5%	1,418	0.2%
普通乗用車	3,722	56.6%	2,926	52.0%	358,372	49.4%	215,319	31.1%
大型貨物車	715	10.9%	384	6.8%	9,514	1.3%	3,730	0.5%
中型貨物車	471	7.2%	518	9.2%	15,548	2.1%	5,508	0.8%
普通貨物車	727	11.1%	847	15.1%	44,721	6.2%	21,874	3.2%
軽自動車	630	9.6%	782	13.9%	215,727	29.7%	153,107	22.1%
自動二輪車	202	3.1%	82	1.5%	14,532	2.0%	39,018	5.6%
その他	50	0.8%	48	0.9%	63,786	8.8%	253,197	36.5%

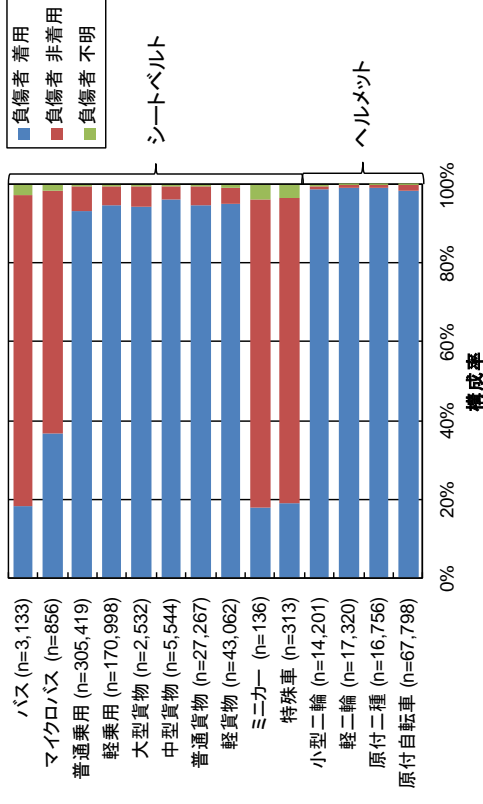
* 全事故のその他には、原付、自転車等、歩行者などを含む。

- 高速道路でのバス事故は、全事故におけるバス事故の構成率に比べて高いが、1%以下と低い。

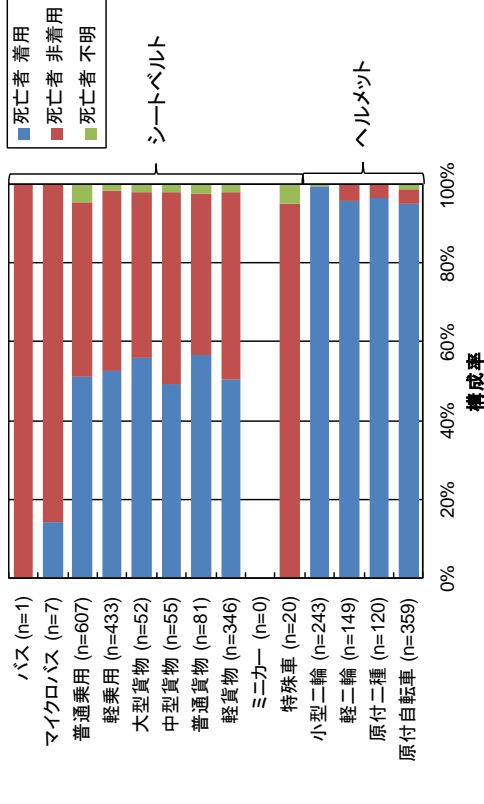
当事者種別の乗員数および自体防護の着用状況

	負傷者		死亡者	
	人数	構成率	人数	構成率
バス乗車中	3,133	0.3%	1	0.0%
マイクロバス乗車中	856	0.1%	7	0.1%
普通乗用乗車中	305,419	34.1%	607	12.5%
軽乗用乗車中	170,998	19.1%	433	8.9%
大型貨物乗車中	2,532	0.3%	52	1.1%
中型貨物乗車中	5,544	0.6%	55	1.1%
普通貨物乗車中	27,267	3.0%	81	1.7%
軽貨物乗車中	43,062	4.8%	346	7.1%
ミニカー乗車中	136	0.0%	0	0.0%
特殊車乗車中	313	0.0%	20	0.4%
小型二輪乗車中	14,201	1.6%	243	5.0%
軽二輪乗車中	17,320	1.9%	149	3.1%
原付二種乗車中	16,756	1.9%	120	2.5%
原付自転車乗車中	67,798	7.6%	359	7.4%
自転車乗車中	150,973	16.9%	658	13.6%
歩行中	69,083	7.7%	1714	35.4%

自体防護有無別の乗員構成率(負傷者数)



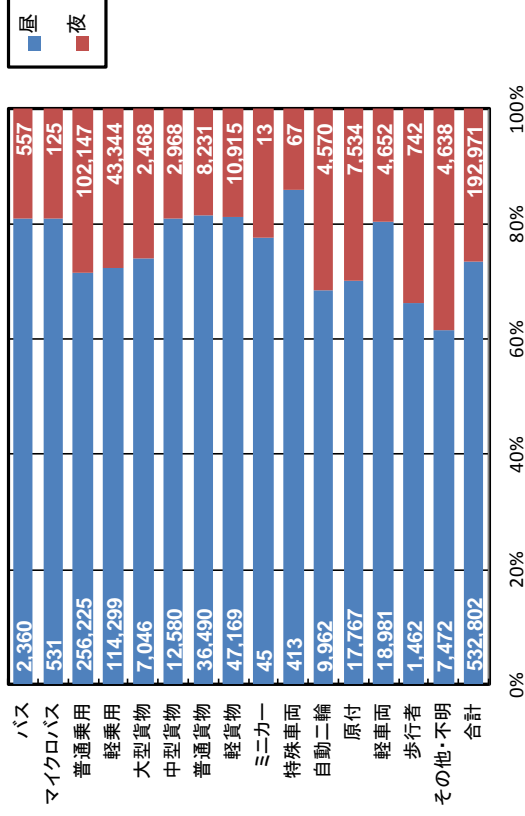
自体防護有無別の乗員構成率(死亡者数)



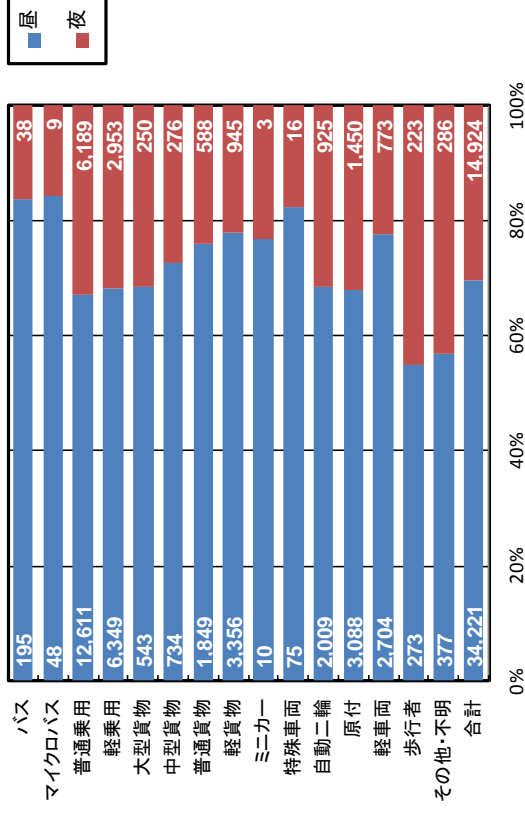
- バス・マイクロバスの乗員の死傷者構成率は、いずれも1%未満と非常に低い。
- バス・マイクロバスの乗員は、その他の四輪車の乗員に比べてシートベルト着用が少ない。

昼夜別の発生件数

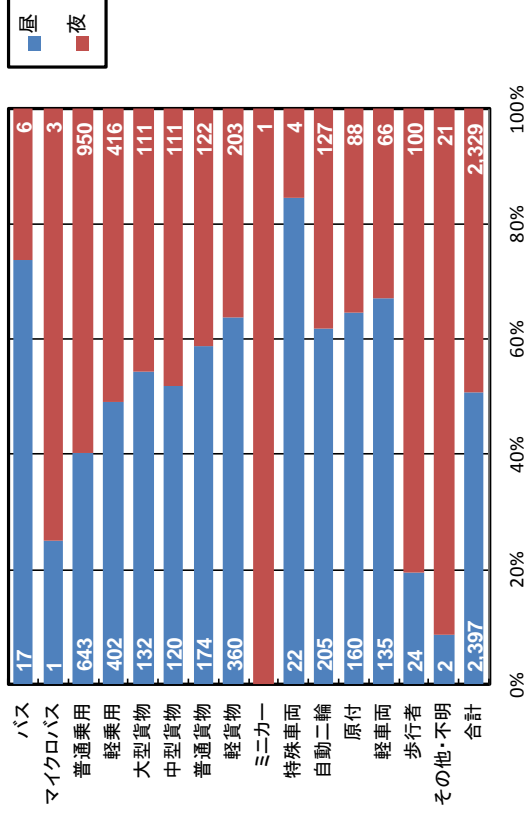
第1当事者別、昼夜別の全事故件数



第1当事者別、昼夜別の重傷事故件数



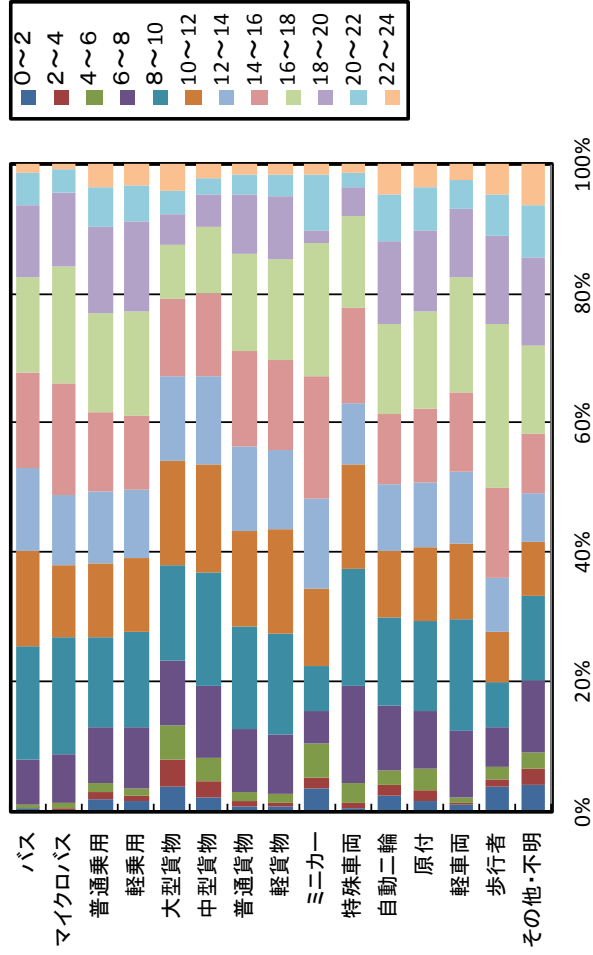
第1当事者別、昼夜別の死亡事故件数



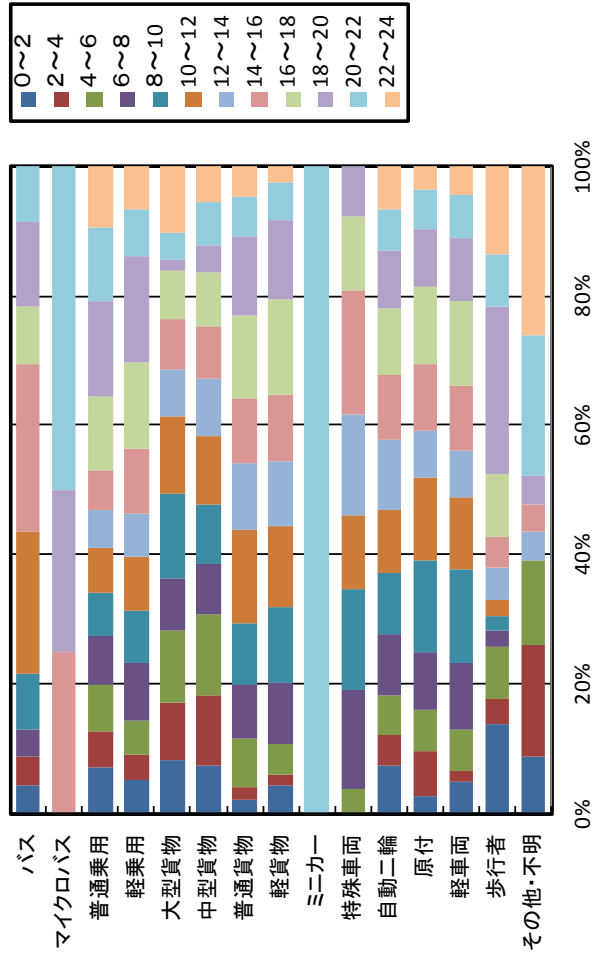
- バスが1当となる事故は、事故の程度に関わらず夜間の発生率が2割程度であり、その他の車種に比べてその割合が低い。
- マイクロバスの場合もほぼ同様の傾向にあるが、死亡事故は件数が少ないため、夜間の事故が7割程度と多くなっている。

時間帯別の発生件数

第1当事者別、時間帯別の全事故件数



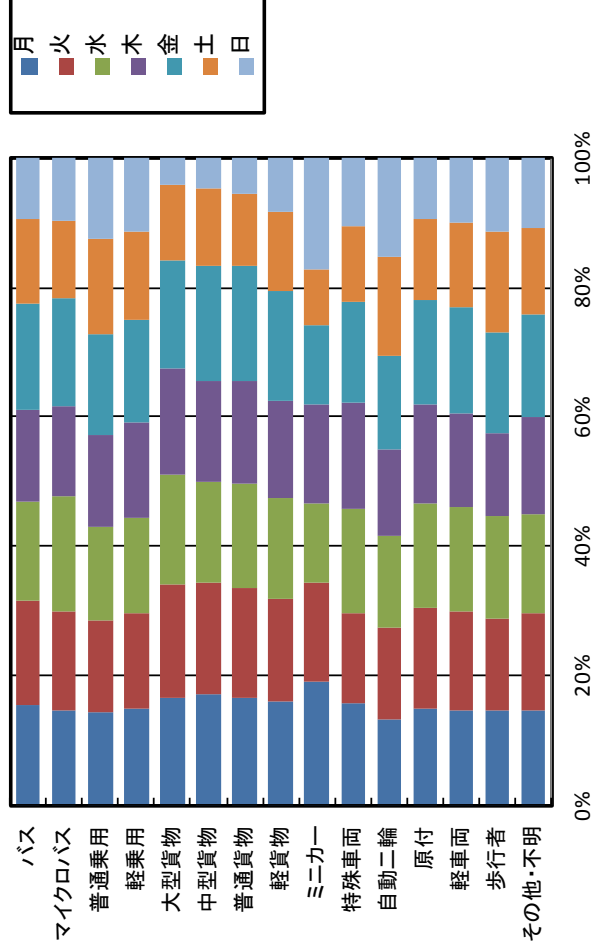
第1当事者別、時間帯別の死亡事故件数



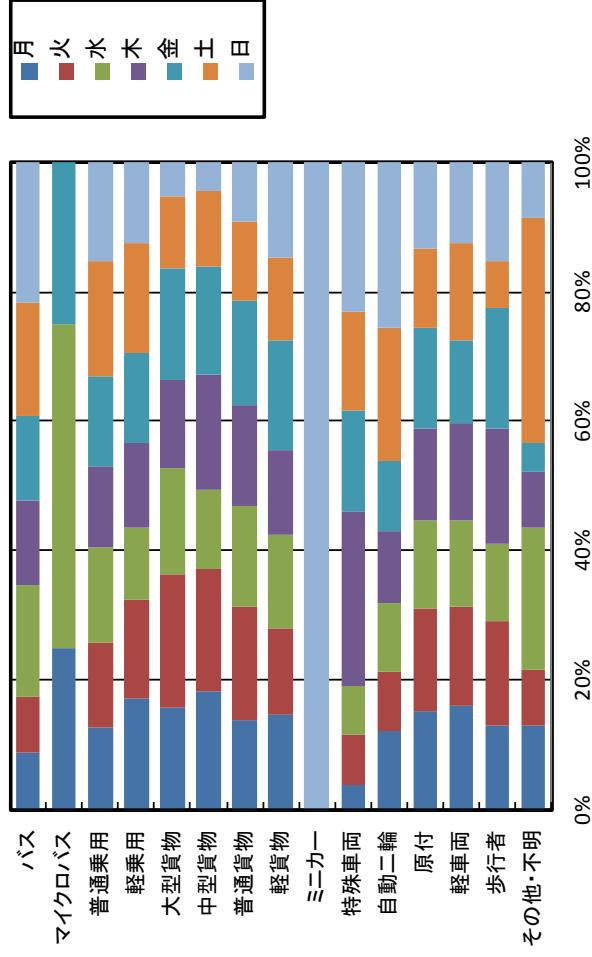
- バス・マイクロバスとも深夜の事故発生件数は少ない。
- 午前よりも午後の事故発生件数が多い。
- バスの事故に着目すると、全事故では、8～10時の発生が比較的多い。一方、死亡事故では、10～12時および14～16時の発生が比較的多い。

曜日別の発生件数

第1当事者別、曜日別の全事故件数



第1当事者別、曜日別の死亡事故件数



- バス・マイクロバスとも、全事故では、わずかではあるが平日の発生件数が週末の発生件数よりも多い。
- バスの死亡事故発生件数は、平日に比べて週末のほうが多い。

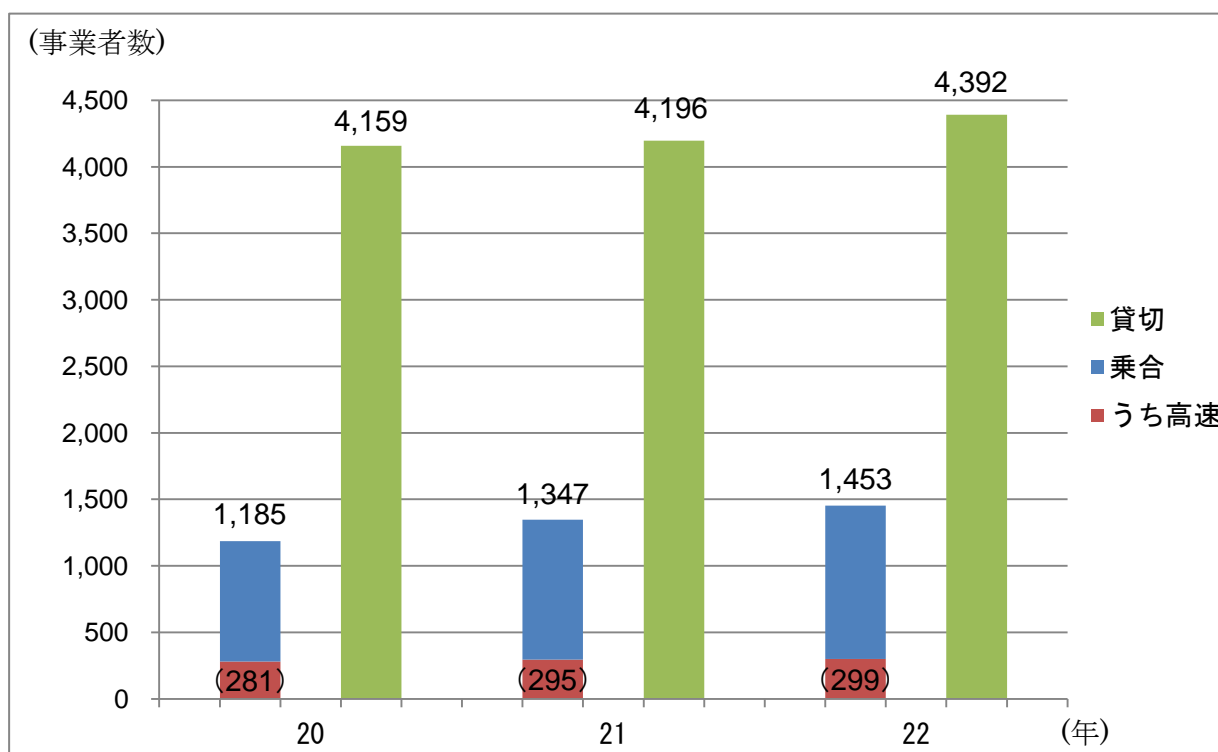
バスの事業者数

答

○ バスの事業者数については下記のとおり。

年	乗合バス事業者	乗合バス事業者のうち 高速バスを運行する事業者	貸切バス事業者
20	1,185	(281)	4,159
21	1,347	(295)	4,196
22	1,453	(299)	4,392

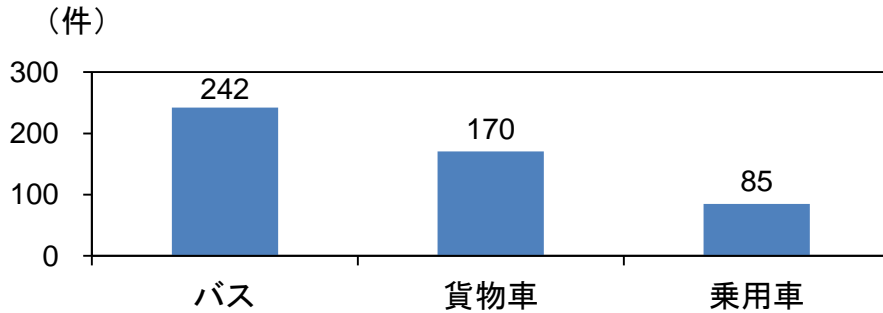
(※) 各年3月末時点



バス事故の件数や死傷者数

答

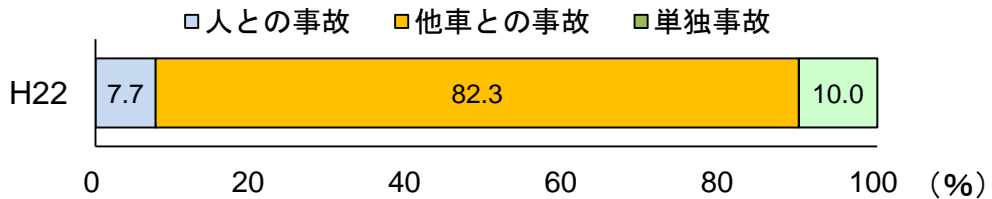
- 保有台数 1 万台あたりの事故件数を比較した場合、バスの事故は貨物車の 1.4 倍、乗用車の 2.8 倍事故が発生している状況である。



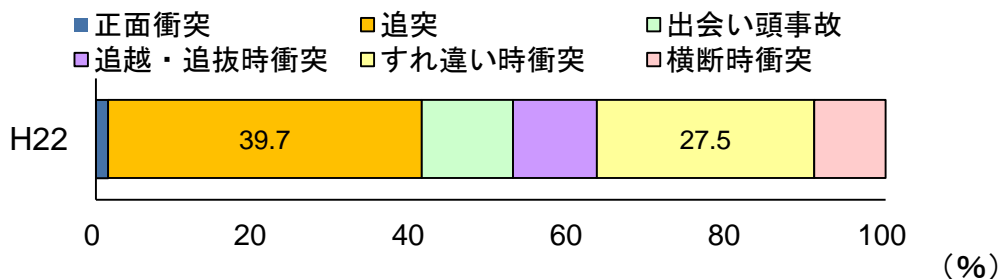
	バス	貨物車	乗用車
事故件数 (件)	2,589	9,507	492,529
保有台数 (台)	107,038	558,180	58,139,000
保有台数 1 万台あたりの事故件数 (件)	242	170	85

車両 1 万台あたりの事故件数 (平成 23 年)

- また、貸切バスの類型別に事故を見てみると、他車との事故の割合が最も多く、その中でも追突事故の割合が最も高く、すれ違い時の衝突事故の割合が次に高い状況である。



貸切バスの事故類型別事故件数 (平成 22 年)



貸切バスの事故類型別事故件数の内訳 (平成 22 年)

(出典：(財) 交通事故総合分析センター 交通事故統計年報)